

愛犬と楽しく暮らすために！

ワンニャン博士の



# はじめてのしつけ方教室



基本的なしつけ

P2~14



トイレのしつけ

P15~18



散歩中に排せつさせないしつけ

P19~22

名古屋市動物愛護センター

# はじめに

—しつけって何？ なぜしつけが必要なの？—

犬との暮らしは、生活に潤いを与えてくれます。また、犬は人の本当によいパートナーとなります。しかし、犬を飼い始めると困ったこともたくさん出てきます。

これは、犬と人が、全く違う動物だからです。とびつき、拾い食い、鳴き声、かみつきの人の人にとっての犬の困った行動は、犬にとっては普通のことで、悪いことをしているという認識がないことが多いのです。

何も教えないで、愛犬を人の社会に溶け込ませようとするのは無理な話です。家族として迎え入れたその日から、時間をかけて、愛犬に人の社会や家庭のルールを教えること(しつけ)が必要です。

—どのようにしつけをしたらいいの？—

では、いったい人の言葉が通じない相手に、どのようにしつけをしたらよいのでしょうか？この教本では、犬にわかりやすく、人と犬の双方に安全で、誰にでもできる「基本的なしつけ」の方法をお伝えします。

また、犬の散歩中の糞尿に関する苦情が多いことから、「トイレのしつけ」、「散歩中に排せつさせないしつけ」についてもわかりやすく説明しているので、是非チャレンジしてください。

—周囲に迷惑をかけることなく、人と犬が共に幸せにくらすために—

愛情を持って、根気よくしつけをすれば、犬は実にいろいろなことを学習する動物です。是非、犬にいろいろなことを教えて、誰からも好かれる愛らしい犬に育ててください。そして、飼主が犬にとって安心できる存在となって、いつもやさしく守ってあげてください。そうすることが、周囲に迷惑をかけることなく、人と犬が共に幸せにくらすために大切なことです。



# 1 基本的なしつけ

## (1) しつけをはじめる前に！ <犬のことを良く知ろう！>

### ① 犬の習性について

臭覚は人の100万倍 目はあまりよくない。

ものや場所などを守る。

警戒・恐怖・要求などでほえる。

かじることを本能的に求める(3歳未満の犬に特に強い)。

本来、あちこちで排せつする(1ヶ所で排せつする習慣はない)。

メスには年に1~2回発情がある。オスは発情中のメスの存在で発情する。

### ② 犬種について

原 産 国 \_\_\_\_\_

作られた目的 \_\_\_\_\_

飼 養 環 境 \_\_\_\_\_

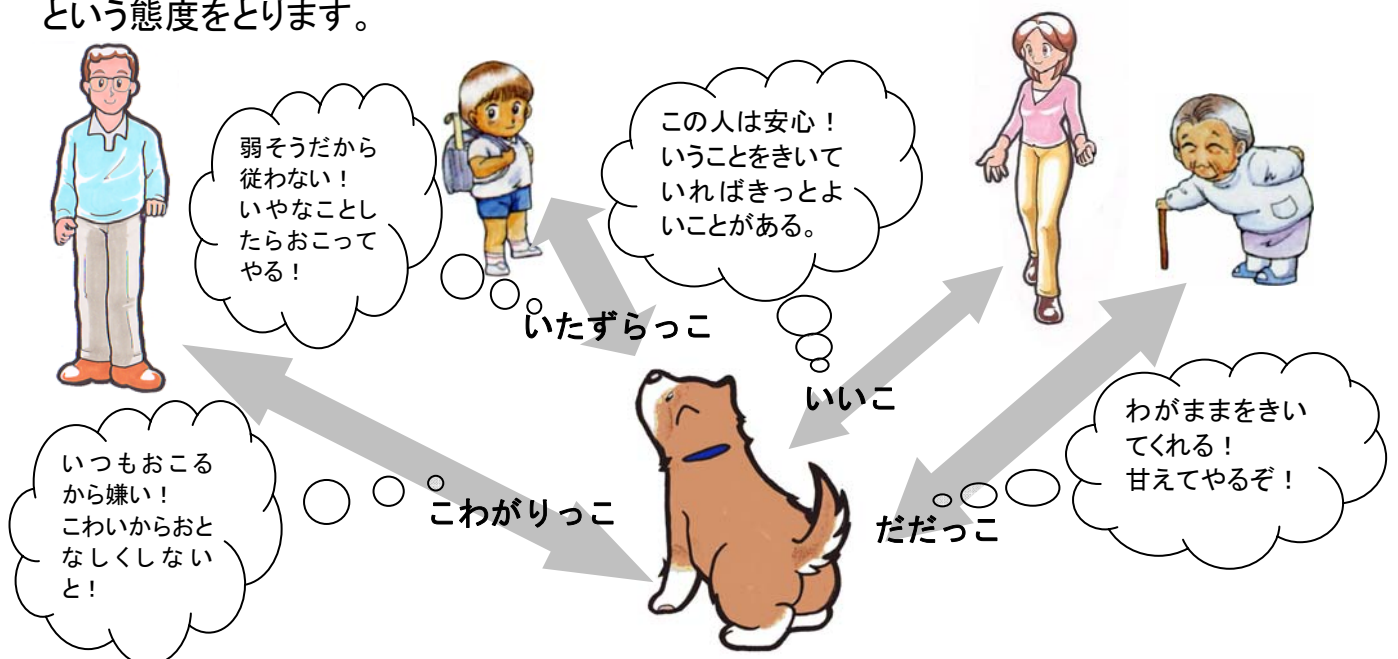
(どのような環境で飼養することが適した犬種か?)

### ③ 犬の性格は？

### ④ 犬は観察の天才！

犬は社会性が発達しているため、家族の一員として人と生活することができます。

家族の中で、犬は人をよく観察して、家族の一人ひとりと、関係を作ります。「信頼できて、かつわかりやすい人」の言うことはよくききますが、そうじゃなければきかない…という態度をとります。



## ⑤ 犬の学び方

犬は得なことと、損なことをてんびんにかけています。

得なこと → 何度も繰り返す  
 損なこと → やらなくなる

## ⑥ 犬に教えるということ

やってほしい行動 → 得なことと関連づける  
 やってほしくない行動 → 損なことと関連づける

### ※ワンニャン博士のワンポイントレッスン



<「いいこ」などの言葉を「得なことが起こる合図」として認識させます。>



ほめ言葉(いいこ!)を教えましょう!

「いいこ!」と言ってからごほうびをあげます。

覚えてきたら、ごほうびを2回に1回、4回に1回、3回に1回とランダムにしていきます。

<飼主と信頼関係があれば、無視されることは損なこと>



無視 = 罰

## ⑦ 愛犬のごほうび(好きなもの)をたくさん考えておきましょう!

ごほうび(大好きなもの)のリストを作って、愛犬が特に好きなもの、まあまあ好きなものなどランクをつけて把握しておきます。難しいことに挑戦するときは愛犬が特に好きなもの、ほとんど覚えていることにはまあまあ好きなものといったように、難易度に応じてごほうびを使い分けます。

### ごほうびのリストと順位の例

フード	おもちゃ	遊び
1 チーズ	1 音の出るぬいぐるみ	1 引っぱりっこ
2 ささみのおやつ	2 音の出るボール	2 ボール投げ
3 ビーフジャーキー	3 ロープ	3 お散歩
4 レバー(半生タイプ)	4 咬むおもちゃ	4 なでてほめること
5 普通のドッグフード	5 テニスボール	5 ドライブ

## (2) しつけの基本

### しつけの基本 10か条

<p><b>1 よい行動をほめて教える</b></p> <p>動物には「うれしいことをくり返す」習性があるので、この習性をうまく利用します。 犬が「ほめてもらえるためにはどうしたらよいか」ということを自ら考えるようになります。</p>	<p><b>2 「叱るしつけ」は得策ではない！</b></p> <p>「いやなことを避ける」のも動物の習性なので叱ってしつけをする方法も考えられますが、これはとっても難しい方法です。「コラ！ダメ！」と言っても犬には通じないし、力づくで従わせたり、体罰を与えると飼主との信頼関係が壊れてしまいます。</p>
<p><b>3 信頼関係を築く</b></p> <p>犬との信頼関係は、「この人の近くにいると安心だ」という体験から生まれます。 きちんと食事を与えてくれて、散歩や遊びなどの楽しいことを十分にさせてくれて、危険から守ってくれる…。そんな日々の積み重ねが大切です。犬を力づくで支配するのではなく、大きな愛情で包んであげれば、犬はおのずと言うことをきくはずです。</p>	<p><b>4 わが家のルールを作る</b></p> <p>家族構成やライフスタイル、犬とどんな暮らしをしたいかによって、犬に何を教えるかが異なります。家族で犬とどんな暮らしをしたいかを話し合っ、必要なしつけをしましょう！</p> 
<p><b>5 叱らずにすむ環境を整える</b></p> <p>困った行動の多くは、飼主が犬の管理を怠ったり、部屋の環境を整えていなかったために起こることが多いのです。いたずらをされないように部屋を片付けておくなど、飼主の配慮で未然に防ぐ努力をしましょう！</p>	<p><b>6 子犬のときからいろいろ経験させる</b></p> <p>子犬のときからいろいろな所に連れていき、いろいろなものを見せたり、聞かせたり、さわらせたりして、社会性を身に付けさせましょう！</p>
<p><b>7 愛犬の性格・個性を理解する</b></p> <p>個々の犬の性格や犬種の特性を踏まえてしつけをしましょう！覚えの早い犬・遅い犬、よく吠える犬、臆病な犬、パワーの高い犬…。飼主は飼犬の性格をよく知っていることが大切です。</p>	<p><b>8 飼主が主導権・決定権を持つ</b></p> <p>何か始めたり終わらせたりするのは、原則として飼主から。そうしないと、犬は「散歩して！」、「遊んで！」と要求してくるようになります。「スワレ」など何かできることをさせ、飼主のリクエストに応じたごほうびとして犬の要求に応じます。</p>
<p><b>9 号令は統一して簡単で短く、名前を呼んで叱らない</b></p> <p>犬は人の言葉がわからないので家族全員が同じ号令を使いましょう。 名前を呼んで叱ると、名前を呼ばれると叱られると思い、呼んでも来なくなってしまう。</p>	<p><b>10 徐々に段階をあげて無理はしない</b></p> <p>一つずつ完成させることが大切です。集中はそんなに長続きしません。 しつけは成功で終わらせるようにしましょう！</p> 

### (3) 都会で安心して暮らせる犬・誰からも愛される犬 にするためのトレーニング〈社会化〉

#### ★ どうしたら社会化できるの？

人の社会のさまざまな刺激に慣らしていくことで社会化できます。

#### ★ 社会化不足だとどんな犬になるの？

家族以外の人、動物、家の外の環境、見慣れない物、聞きなれない音・・・あらゆるものが恐怖の対象になってしまいます。つまり、生活していく上で常にストレスにさらされて生きていくこととなります。いわゆる“問題行動”と言われる行動の背景には社会化不足があることも多いのです。

#### ★ 社会化で大切な時期は？

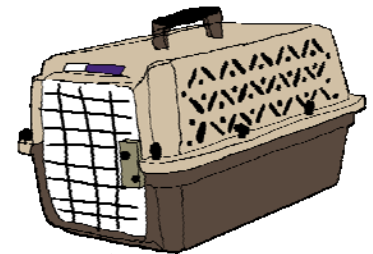
生後3～16週齢で「社会化期」と言います。社会化期は好奇心が警戒心より強く、周囲のさまざまなものに慣れやすい時期です。反面、感受性が強く、一度恐怖を感じると、それが一生のトラウマになってしまう時期でもあるので注意が必要です。

#### ★ 社会化のトレーニングは継続しましょう！

社会化期を過ぎても、その後の生活の中で継続してトレーニングをしないと忘れてしまいます。また、社会化期に十分なトレーニングができなかったとしても、その後1つずつゆっくりと根気よく教えてあげれば成犬になってからでも社会化はできます。

#### ① 日用品に慣らす

- 首輪       クレート※
- リード     サークル
- 鑑札・名札  フード皿



※クレート



#### ※ワンちゃん博士のワンポイントレッスン 〈クレートトレーニング〉

##### ★クレートでおとなしく安心して過ごすことができれば・・・

- ・留守番ができる
- ・犬を見ていられないときの安全確保
- ・ペットホテルなどに預けるとき犬のストレス軽減
- ・車での移動中の安全確保
- ・災害時の対策

##### ★どのようにトレーニングするの？

ごほうびで誘導しながら、犬が自ら進んで入れるようにトレーニングしましょう。

悪いことをした時に閉じ込めるような使い方はしない。

クレート＝移動式の犬小屋

犬の祖先は穴ぐら生活  
＝本能的に狭いところを好む



クレートの中  
＝狭いため警戒心・防衛本能  
がやわらぐ



**安心！**

## ② さまざまな状況に慣らす

- お留守番
- 親戚が集まる
- お友達が遊びに来る
- お散歩(抱っこ／歩いて)
- 車に乗る(静止／発車)

## ③ 人に慣らす



- 男性／女性
- 子供や赤ちゃん
- 若い人
- 年配の人
- 制服の人
- 獣医さん
- トリマーさん

## ④ 動物に慣らす

- 大きい犬
- 小さい犬
- 猫
- 鳥



## ⑤ 物・音に慣らす

- 掃除機
- ドライヤー
- 洗濯機
- インターホン



### チャレンジしてみよう！〈新しい環境〉

- 雨の日に外に出る
- 動物病院の待合室
- トリミングに連れて行く
- 見知らぬ人が近づいてくる
- 他人に抱かれる
- 急に首輪をつかまれる
- 人混みを歩く
- パピー教室・しつけ教室に行く
- 他の家に遊びに行く

### チャレンジしてみよう！〈人〉

- 走る人
- ヒゲをはやした人
- 帽子をかぶった人
- サングラスをかけた人
- マスクをした人
- 杖をついた人
- 傘をさした人やレインコートを着た人
- 立ち止まっている人
- 乳母車をひく人
- 犬を連れた人

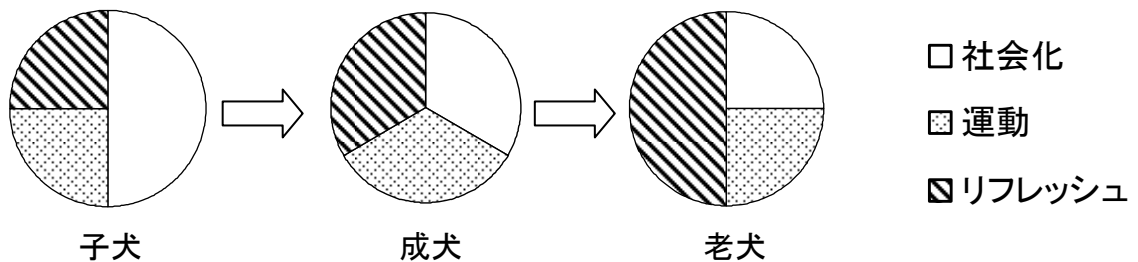
### チャレンジしてみよう！〈物・音〉

- 車(止まっている・動いている)
- 自転車やバイク(止まっている・動いている)
- ブラッシング
- 爪きり
- バリカン
- 玄関チャイムや電話のベル
- 子供の声・赤ちゃんの泣き声
- 雷
- 救急車などのサイレン
- 鏡
- マンホールの上・溝蓋を飛び越える
- 扇風機

# お散歩マップを作ろう！



★お散歩には「運動」・「リフレッシュ」・「社会化」の3つの意義があります！



お散歩の目的は単に運動だけではありません。社会化やリフレッシュのためにも複数のコースを考えて、いろいろな時間帯で散歩しましょう。





## ☆ 入門

### ～お散歩って楽しいな！～

お散歩デビューのためには、まずは段階を踏んで外の環境に慣らしていきましょう。最初は首輪とリードを付けて抱っこしたり、キャリーバッグに入れて外出し、家の周囲やお散歩コースを見せてあげることから始めましょう。外に出られるようになったら、落ち着いていられて安全な場所（自宅周囲や公園など）で地面に下ろして少しずつ歩かせてみましょう。徐々に歩けるところを増やしていき、最終的にはどこへでもいっしょに行けることを目指しましょう！

例えば…

- ① 段差・階段…昇り降りができるようにしましょう。
- ② 公園…土、芝生、砂利、落ち葉…いろんな素材の上を歩けるようにしましょう。
- ③ 静かな路地…まずは刺激の少ないところで外のお散歩の練習をしましょう。
- ④ 踏切…電車や踏切に慣らしてあげれば行動範囲も広がります。
- ⑤ 大通り…人混みや車・バイクも恐れがらずに歩けるようにしましょう。
- ⑥ 交番・動物病院…苦手になりがちな場所も“慣らす”ことでストレスなく行けるようにしましょう。



## ☆ ステップ・アップ

### ～基本的なしつけは生活のいろいろな場面で活用しましょう！～

一歩、外に出てみれば、家の中とはくらべものにならないくらいの刺激でいっぱいです。そんな刺激の中でもアイコンタクトができますか？トレーニングしてきたことをいろいろな場面で活用し、いつでもどこでもできるようにしましょう。

例えば…

いってきま～す…ドアや門から犬が飼主さんより先に飛び出していないですか？

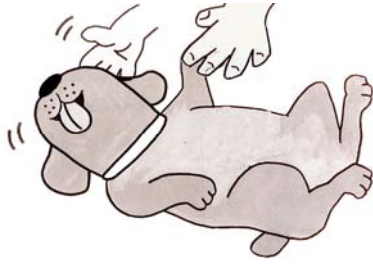
- ① 段差・階段…引っ張らずに上り下りはできますか？
- ② 公園…「オスワリ」「フセ」「マテ」などやってみましょう。
- ③ ゆっくり横について歩く練習です
- ④ 踏切・横断歩道…「オスワリ」をさせて左右を確認して渡りましょう。
- ⑤ 大通り…犬を怖がる人とすれ違う時にはリードを短くして避けてあげます。
- ⑥ 苦手な場所や人…もし興奮してしまった場合、それでも飼い主の号令を聞いてくれますか？

ただいま～…散歩から帰ったら足を拭いてあげましょう。手足を触っても嫌がらない練習です。

## (4) 愛犬と良い関係をつくるためのトレーニング

### ① スキンシップ

全身どこでもさわられるようにしましょう！



### ホールドスタイル



★苦手な部分(耳や足先、しっぽなど)をさわるときは、ごほうびをあげながらさわります。

★遊びや運動をして十分疲れた後に、トレーニングすることがポイント

★体を拘束することにも慣れさせましょう！

健康チェックを兼ねた全身のマッサージを毎日の習慣にしましょう！

---

---

---

---

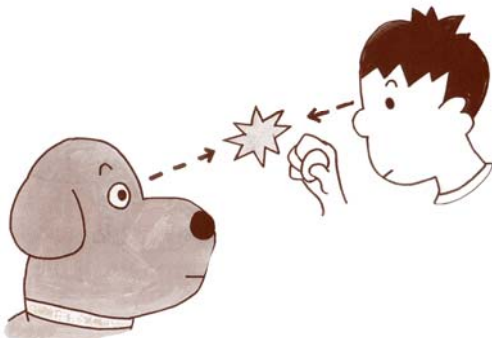
### ② アイコンタクト(目と目を合わせ犬の注意をひくこと)

犬に注目させよう！

- ・ 視線上にごほうびをおいて注意を引きます。
- ・ 目があったらごほうびをあげます。
- ・ できるようになったら、名前を呼んでごほうびをあげます。

アイコンタクトができると・・・

- ・ 名前を呼べば、すぐに注目してくれる。
- ・ 次の指示が出しやすくなる。
- ・ 犬が何かをしたいときに、飼主に許可を求めるようになる。
- ・ 犬が何かに怖がったり、反応しているときに、名前を呼ぶことで飼主に気をそらすことができる。



---

---

---

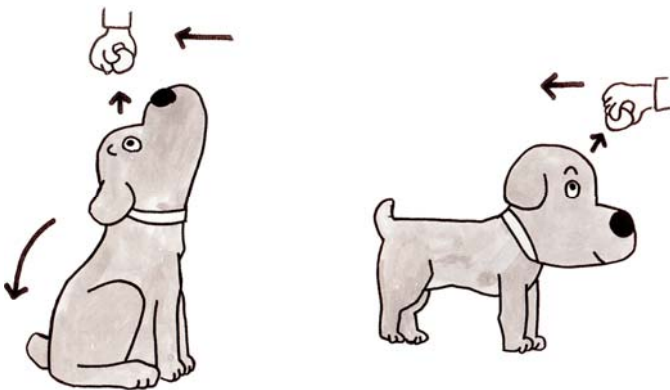
---

## (5) 暮らしに役立つ言葉を教えるトレーニング

### ★ポイント

ごほうびで誘導してオスワリ・フセなどのかたちをつくる。かたちができたら、号令をかけて関連つける。

### ① オスワリ



★犬を落ち着かせたいときに役に立ちます。

- ・ 玄関から出るとき
- ・ 来客がきたとき
- ・ 他の犬をみたとき

- ・ ごほうびで誘導して「オスワリ」のかたちをつくります。
- ・ 「オスワリ」ができたらごほうびをあげます。
- ・ できるようになったら、ごほうびといっしょに「オスワリ」と声をかけます。

### ② フセ

★長時間、おとなしく待たせたいときに役に立ちます。

★フセの体勢ではほえ辛いので、ほえの軽減につながります。



ごほうびで誘導する方法と、トンネルをくぐらせる方法を試してみましょう！

### ③ マテ



★犬の行動をやめさせたいときに役に立ちます。

- ・ 危険な場所に入りそうになったとき
- ・ 飛びつきや困ったクセが出そうになったとき

.....

.....

.....

.....

- ・ 1秒ずつ、1歩ずつというように、ゆっくり時間をかけてステップアップしていきましょう！
- ・ 同時に解除の号令(ヨシなど)も教えましょう。

### ④ オイデ



★犬を呼び寄せるときに役に立ちます。

- ・ 食事、散歩、いっしょに遊びたいときなど
- ・ 万が一、屋外でリードが外れてしまったとき

.....

.....

.....

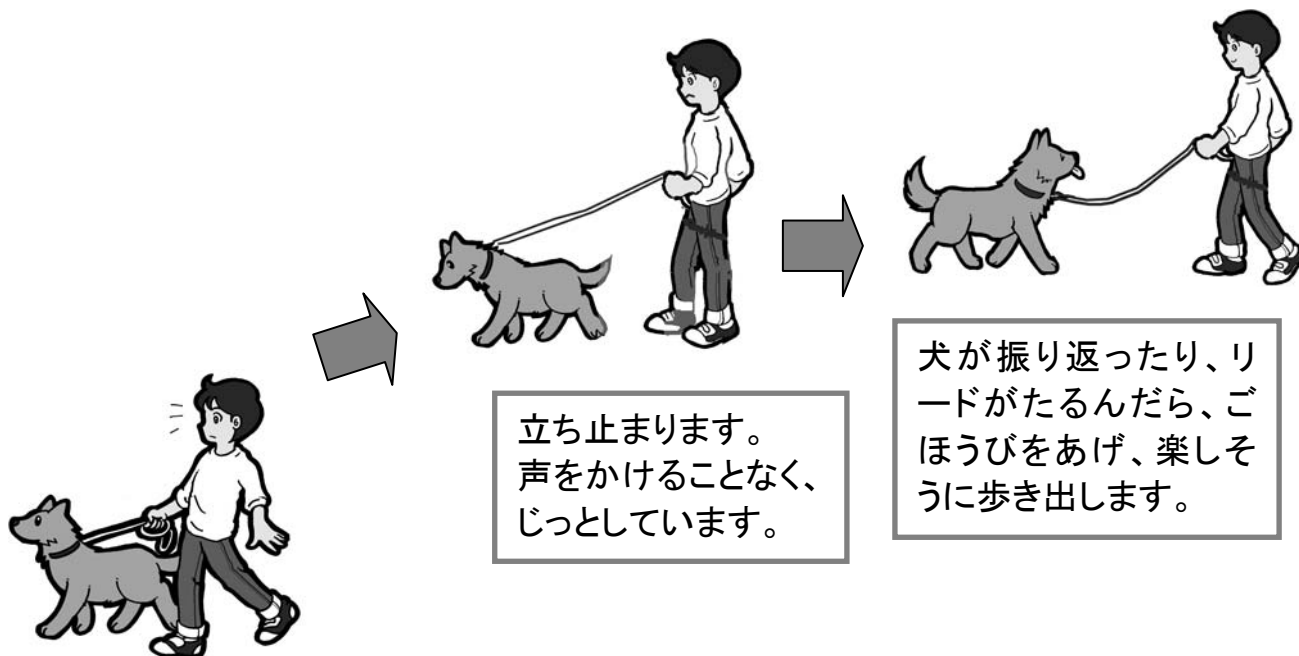
.....

- ・ 「オイデ=いいこと」と思わせましょう！
- ・ 魅力的なごほうびを用意してトレーニングを！
- ・ 必ずリードを付けてトレーニングしましょう！

## (6) 安全に散歩するためのトレーニング

### ① リードを引っ張らないように歩くトレーニング

リードを引っ張ると、どこへも行けないことを教えることがポイント



リードを引っ張る。



立ち止まります。  
声をかけることなく、  
じっとしています。



犬が振り返ったり、リ  
ードがたるんだら、ご  
ほうびをあげ、楽しそ  
うに歩き出します。



逆方向に向きをかえます。  
引っ張ると行きたい方に行  
けなくなることを教えます。



リードがゆるんでいるとき  
には楽しく歩きます。

★ 犬に教えましょう!

リードが張る = 前に進めない

リードがゆるむ = ごほうび + 前に進める

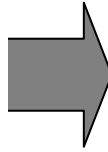
## ② 飼主に注目して人の横を歩かせるトレーニング

人通りの多い道や他の犬とすれ違うときなど、人が犬をコントロールして歩かないといけな  
ないときに役立ちます。散歩のコースで区間を決めて練習しましょう！

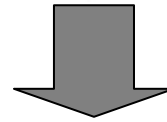
1 犬を座らせて、アイコンタクト  
をとり、飼主に注目させます。  
リードは、短めに持ちます。

2 リードを持って歩き始めます。  
犬がついてこられるように半歩  
前にふみだします。

ごほうびを  
持ちます。

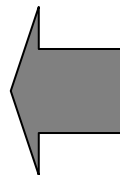


歩き始めると  
犬も立ち上が  
ります。



4 定期的に手に持った  
ごほうびを与えます。

3 ごほうびを見せ、飼主に注目さ  
せながらついてこさせます。



飼主より前を歩  
かせないように、  
ごほうびの位置  
で、コントロール  
します。



小型犬の場合は腰を低くして、アイコンタクトをとりな  
がら、ごほうびを与えて教えます。

## 避妊・去勢手術

毎年多くの犬が新しい家族に迎えられる一方で、それを上回る多くの犬の命が、引き取り手がいないために殺処分されています。望まれない不幸な動物を増やさないためにも、軽い気持ちで犬を繁殖させることは厳禁です。

また、犬は本能で繁殖を行います。「避妊・去勢手術をせずに繁殖をさせない」いうのは犬にとって大きなストレスです。

人の家族として生きていく犬にとっては、避妊・去勢手術は不幸な命を生み出さないために効果的な措置であるだけでなく、繁殖に関するストレスをなくし、健康面・行動面でのメリットがたくさんあります。

### メリット

オス♂ ・マーキングが減る。

- ・攻撃性・縄張り意識が弱まる。
- ・性的欲求によるストレスからの開放
- ・前立腺肥大・精巣および肛門周囲腫瘍などの病気の予防

メス♀ ・望まない妊娠が避けられる

- ・卵巣子宮の病気・乳がんなど命を奪う危険性の高い病気の予防になる。
- ・発情期の出血、オス犬との接触などの煩わしさが解消される。
- ・発情中のストレス(イライラ)がなくなる。

### デメリット

- ・太りやすくなることがある
- ・生涯、繁殖ができない

## 迷子・盗難防止のため、身元の表示を確実に！

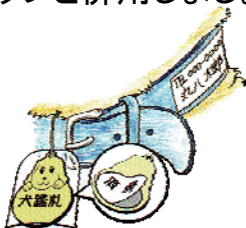
### <身元の表示方法>

1 鑑札の裏に注射済票を貼って、必ず首輪につけましょう！  
全国共通の名札になります。

2 飼主の氏名や連絡先を記した名札をつけましょう！

3 マイクロチップ

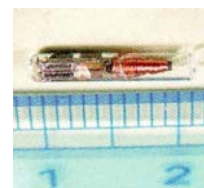
首輪・名札などは脱落してなくなってしまうことがあります。なるべく、マイクロチップと併用しましょう！



鑑札



注射済票



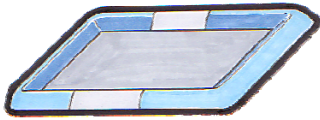
マイクロチップ

## 2 トイレのしつけ

自宅の一定の場所(トイレ)で排せつさせるしつけをしましょう！

### (1) まずはトイレを決めましょう！

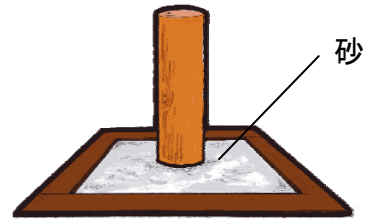
(1)市販のトイレ



(2)新聞紙・トイレシート



(3)庭のすみ



こんなトイレを作っても便利です。

### (2) トイレのしつけで大切なこと

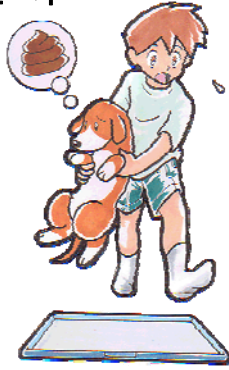
- ① 「犬は寝床と食事場所では排せつしない」という習性をうまく利用する。
- ② 犬の排せつについて、飼主が主導権を握る。  
※犬の排せつのタイミング(間隔や時刻)を把握して、時間になったらトイレに連れて行きます。
- ③ 失敗しても、しからず、うまくできたらほめる。しかると、隠れて排せつするようになる場合があります。
- ④ トイレの場所は、むやみに変えずに犬が落ち着ける場所にする。
- ⑤ 犬の大きさにあったトイレを準備する。
- ⑥ トイレを覚えるまでは、犬の行動範囲を制限する。
- ⑦ あきらめないで根気よくしつける。



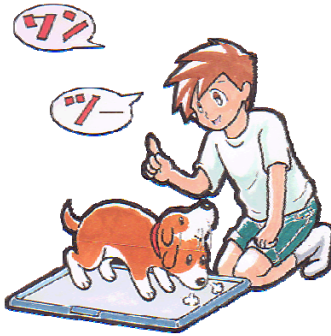


### (3) トイレのしつけの方法

#### ① 基本



排せつのそぶりがみられたらトイレに連れて行きます。



「シー」、「ワン・ツー」、「トイレ」など声をかけながら、排せつを促します。



できたらほめてあげます。

#### <排せつのそぶり>



臭いをかぐ



ソワソワする



ウロウロ動き回る

#### <犬がトイレに行きたくなる時>



起きたとき

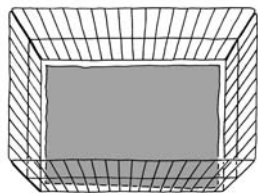


食べた後



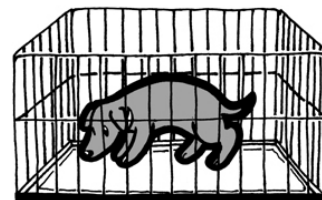
遊んだ後

#### ② サークルを使ってしつける方法



サークルの中に、ペットシーツを敷きつめて、全体をトイレとします。

- 排せつする時間(食事の後や寝起き)になったら、早めにサークルに入れます。また、排せつのそぶりが見られた場合も、急いでサークルに入れます。そして、排せつするまで待ちます。



- ・ 排せつしたら、サークルの中でよくほめます
- ・ 最初は犬を抱いてサークルに入れますが、サークルの一面だけを開けておき、少しずつ犬が自分の足で入るように誘導します。

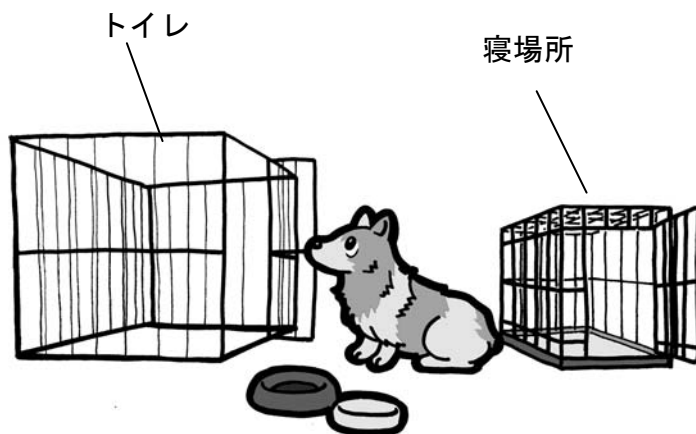


**(注意)**

**犬の行動をよく観察し、失敗させないように、早めに犬をサークルに入れることが大切です。**

**③ 失敗させないために・・・**

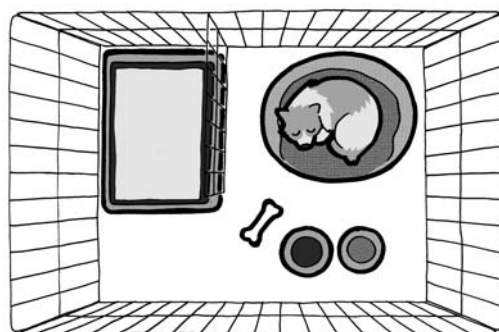
- ・ トイレの場所を理解するまでは、エサを与える場所や寝場所をサークルの近くに置きます。
- ・ 遊ばせる場所も、トイレの近くだけにします。
- ・ 寝場所としてケージを使うと、必要に応じて犬を入れておけるので便利です。
- ・ ケージは犬が入って寝られる大きさで、あまり広すぎないものが良いでしょう。
- ・ 犬がケージに良い印象を持つように、快適な敷物を敷いたり、ケージ内で食事や好物を与えてみてください。
- ・ あまり長い時間ケージに入れたままにすると、犬が我慢しきれなくなって排せつしてしまって、ケージに悪い印象を持つようになるので注意が必要です。



**④ 長時間ついていることができない場合**

「犬は寝床と食事場所では排せつをしない。」という習性を利用してしつけをします。

イラストのように、サークルの中にトイレと寝床を置いて(できれば、トイレと寝床をサークルで切り離す)、目の届かない場合はこのサークルの中で犬を飼ってトイレを教えます。



## ⑤ 庭で排せつさせたい場合

庭に連れて行き、最初は引き綱の届く範囲の自由な場所に排せつさせます。スムーズにできるようになったら、決めた場所(だいたい犬自身が多く排せつしたところが望ましい)に連れていき、声をかけてうながします。

うまくいかないときはケージや犬小屋に犬を入れ、一定時間ごとに出しましょう。オス犬の場合は、オシッコのにおいをつけたブロックを置くと効果的です。



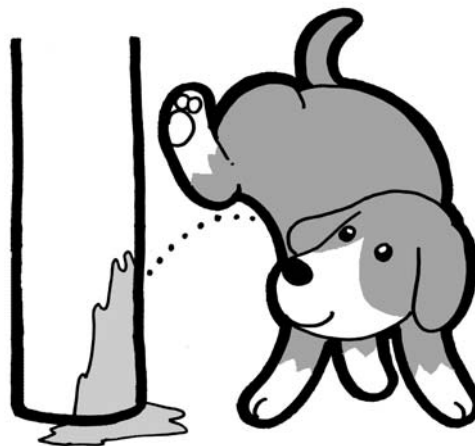
### ※注意

庭の一角をトイレとする場合は、その場所が悪臭の原因となる場合があります。トイレとする場所を掃除がしやすい場所にしたり、お隣の家の近くにしないなど配慮する必要があります。

## (4) マーキング

オシッコを少しずつ何度もかけることを「マーキング」といいます。自分の縄張りを取り戻すという意味で、他の犬のマークより高い位置にオシッコをかけます。散歩中に他の犬のしたオシッコの臭いに刺激されて、電柱などにこのような行動をよくします。また、室内でも行われることがあります。オス犬がよくしますが、メス犬でもすることがあります。

臭いをかがせないように飼主主導で散歩することで、ある程度コントロールすることができます。また、オス犬の場合は去勢手術をすることで改善されることが多いです。



### ※盲導犬は・・・

盲導犬は、普段トイレで排せつするのですが、外出先にはトイレがないこともしばしばです。外出先では、袋を使用して排せつさせることもあるそうです。これなら片付けるのも簡単です。



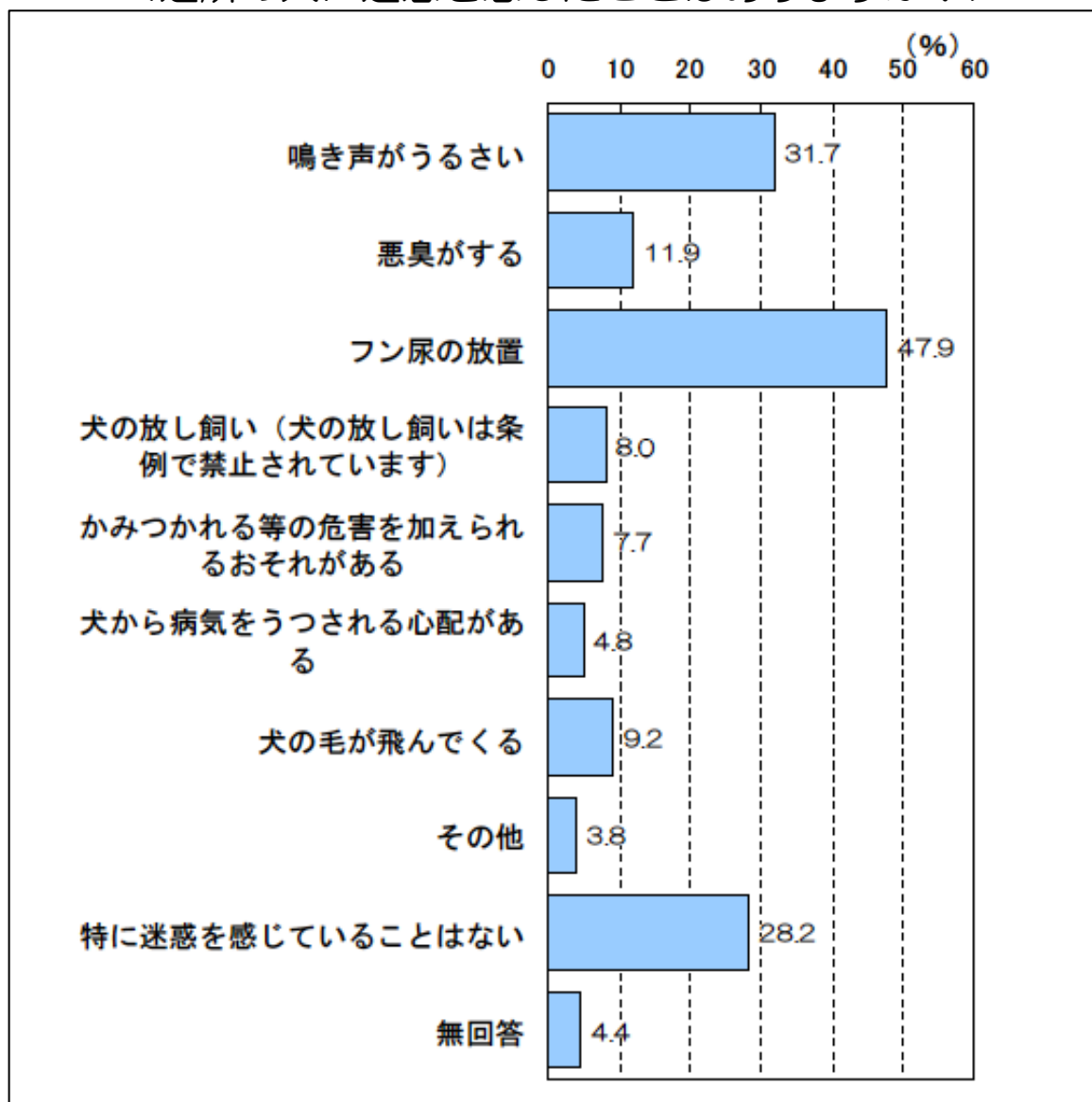
### 3 散歩中に排せつさせないしつけ

犬の散歩中の排せつに関する苦情(フンの放置など)が多数寄せられています。最近ではフンばかりでなく、電柱などにつけられた尿の悪臭なども問題になっています。

本市では、飼主のマナーとして、散歩中に飼犬がしたフンを自宅に持ち帰って処理するよう指導しています。また、さらに一歩進んで、飼犬に、「散歩中には排せつさせず、自宅の一定の場所(トイレ)で排せつさせるしつけ」をすることをお勧めしています。

散歩は、犬と飼主がコミュニケーションをとる絶好の機会です。「散歩中に排せつさせないしつけ」をして、散歩を犬といっしょに過ごす時間として、もっと快適にゆっくり楽しみましょう！そして、一人ひとりの飼主の取り組みで、ペットと暮らすきれいなまちを実現させましょう！

＜近所の犬に迷惑を感じたことはありますか？＞



平成20年度 市政アンケート調査(名古屋市)より

## (1) こんな経験はありませんか？



人家の前や横断歩道の真ん中など人目が気になる場所で排せつをして気まずい思いをした。



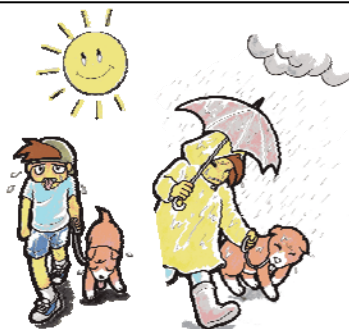
草むらや茂みで排せつをして、取るのがたいへんだった。



やわらかいフンで、取りづらかった。



体調が悪い日にも散歩をしなくてはいけない。



雨の日や暑い日にも散歩が必要でたいへんだった。



犬が高齢で、または病気で散歩ができない。

### 自宅で排せつができれば・・・

- ・ 排せつさせるためだけに、無理に散歩に行く必要がなくなります。
- ・ 犬が排せつを我慢しなくてすみます。
- ・ 散歩がもっと快適になります。
- ・ 「ペットと暮らすきれいなまち」が実現します。

## (2) どうして散歩中に排せつするの？

草むらや電柱のにおいをかぐと、排せつやマーキングをしてしまうのは犬の本能です。犬を自由にして散歩させれば、多くの場合、排せつしてしまいます。

### ポイント

自宅の一定の場所で排せつさせるしつけ(トイレのしつけ)をして、飼主主導で散歩をすれば、犬の排せつをコントロールすることができます。子犬の場合は、トイレのしつけをしっかりと、散歩で排せつすることをはじめから学習させないことが大切です。

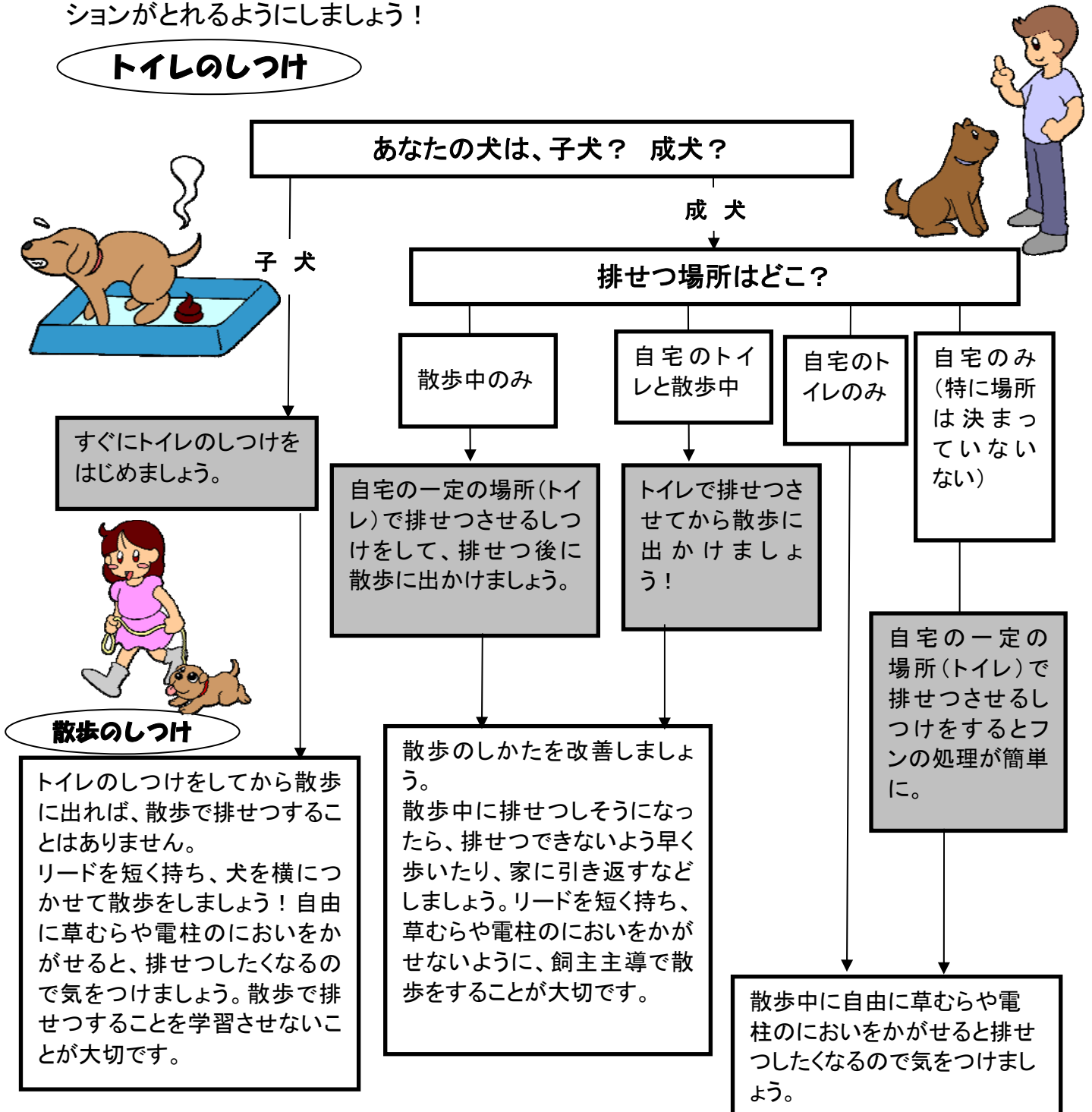
### (3) どんなしつけをすればいいの？

散歩中に排せつさせないためには、一般的には「基本的なしつけ」「トイレのしつけ」「散歩のしつけ」が必要です。しかし、飼犬の年齢、しつけの状態や程度などで必要なしつけが異なります。まずは、次の図から、あなたの犬にはどんなしつけが必要かを確認してください。

#### 基本的なしつけ

アイコンタクト、オスワリ、フセ、マテなどの基本のしつけを毎日行い、犬とコミュニケーションがとれるようにしましょう！

#### トイレのしつけ



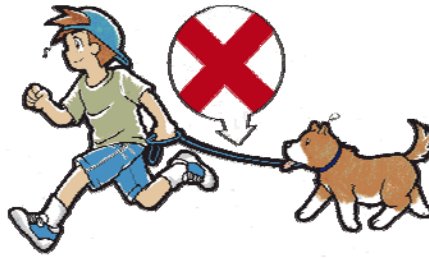
## (4) 散歩中に排せつさせないために大切なこと

①



散歩の前に、自宅の一定の場所(トイレ)で排せつさせる。

②



リードを短く持つ。

③



犬に引っ張られることなく、飼主主導で散歩する。

④



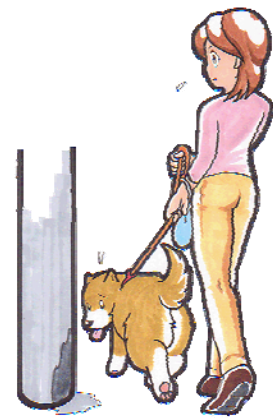
犬を飼主の横につかせて飼主に注目させ、排せつさせないように気を配る。

⑤



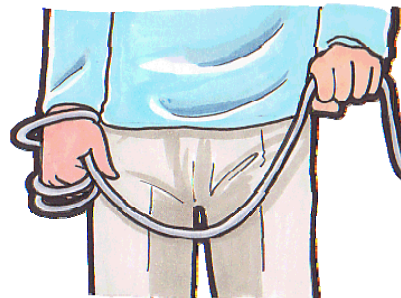
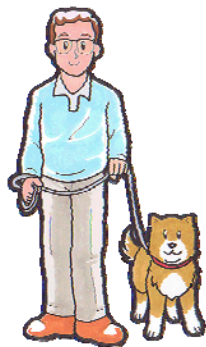
電柱や草むらなどの臭いをかがせない。

⑥



散歩中に排せつしそうになったら、早く歩く、しばらく座らせて落ち着かせる、家に引き返すなどする。

※犬をコントロールしやすい引き綱の持ち方



※ 万が一フンをしてしまったときのために、フンを持ち帰る袋やティッシュなども忘れずに！また、オシッコを流す水を入れたフラスコを持ち歩くこともおすすめします。

### ポイント

すべての場合において、散歩中に排せつしそうになったら、早く歩く、しばらく座らせて落ち着かせる、家に引き返すなどします。



**464-0022 名古屋市千種区平和公園2丁目106番地**

**TEL 052-762-0380**

**FAX 052-762-0423**

ホームページ 【<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-2-0-0-0-0-0-0-0.html>】

※名古屋市動物愛護センターで検索してください